

# 山口宇部医療センター

〔山口県特定領域がん診療連携推進病院（肺がん）〕

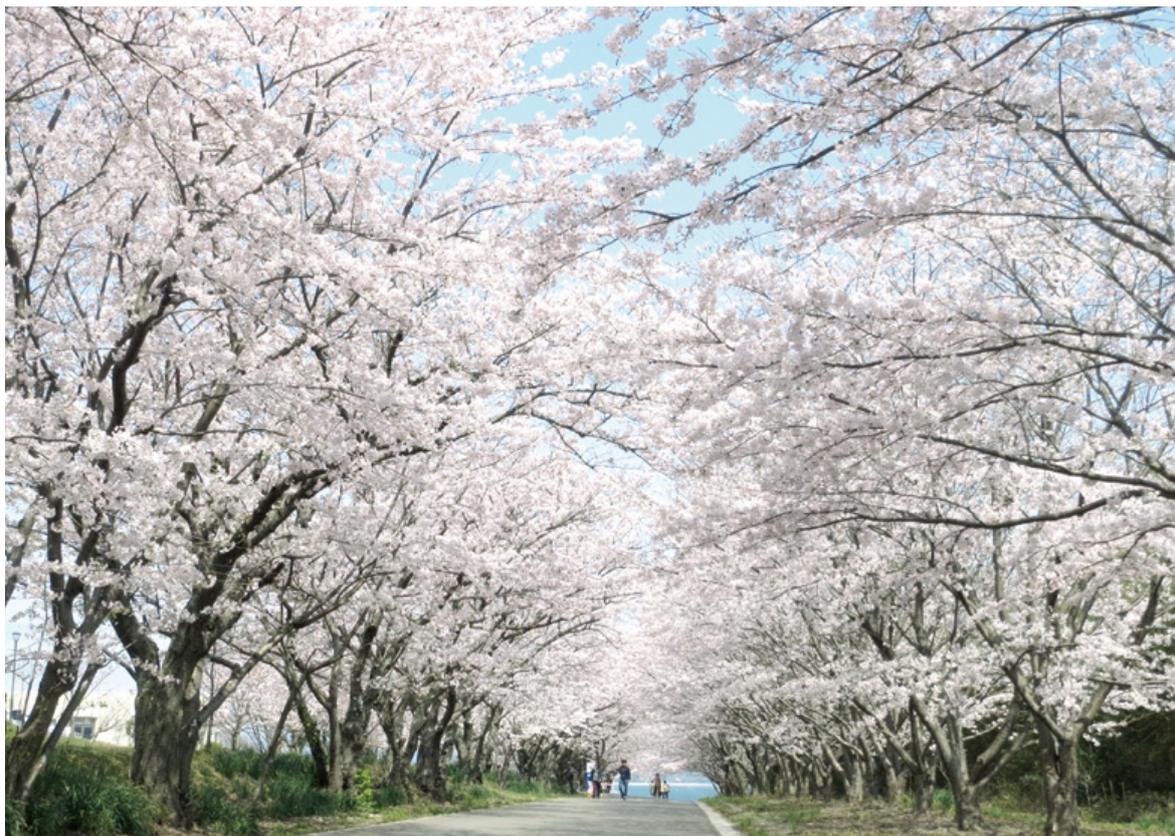
2015. 4

## だより

山口宇部医療センター  
山口がん・呼吸器センター

〒755-0241 宇部市東岐波685番地  
TEL 0836-58-2300  
FAX 0836-58-5219

メールアドレス [renkei@yamaguchi-hosp.jp](mailto:renkei@yamaguchi-hosp.jp)  
ホームページアドレス <http://www.yamaguchi-hosp.jp/>



山口宇部医療センター内 平成27年4月2日撮影

### 病院の理念

患者の権利を尊重し、最新の医学知識に基づく医療を提供します。

### 基本方針

1. がん、呼吸器疾患の専門病院として、高度で専門的な医療を提供します。
2. 重症心身障害児(者)の専門施設として、きめ細やかな医療と療育を提供します。
3. 十分な説明と同意に基づいた患者中心の医療を実践します。
4. 臨床研究を推進し、医学の進歩に貢献します。
5. 地域医療連携に努め、医療従事者、地域住民の医学教育、研修を行います。

# ケープタウン（南アフリカ共和国）

## での世界中皮腫会議

統括診療部長、呼吸器外科科長 岡部 和倫



2014年10月に、南アフリカ共和国のケープタウンで、第12回世界中皮腫会議が開催されました。学会発表や会議での見聞とともに、貴重な経験をしましたので、ご報告します。初めて、アフリカ大陸に足を踏み入れました。

ケープタウンは、アフリカ大陸の南端に位置する人口374万人の大都市で、立法府の首都です。ちなみに、行政府と司法府の首都は各々別に有ります。羽田空港からシンガポールとヨハネスブルグを経由し、ケープタウンまで約24時間の長旅でした。オランダやイギリスの植民地であった時代もあり、街並み（写真1）はヨーロッパの雰囲気があります。



写真1：ヨーロッパの雰囲気が漂うケープタウンの街並み



写真2：ケープタウンの象徴的な存在のテーブル・マウンテン

ケープタウンの象徴的な存在で、観光のハイライトでもある標高約1,000mのテーブル・マウンテン（写真2）からの景色（写真3）は素晴らしいです。世界の保養地と言われる華やかで美しい地域（写真4）とともに、アパルトヘイト（人種隔離政策）の影響も色濃く残っていました。隔離されていた地域（写真5）には、今日も多数の人々が住んでいて、悲惨です。共用の簡易トイレや水道が屋外にあり、蛇口からお湯は出ませんでした。風呂はなく、バケツの水を頭からかぶると言っていました。世界初の心臓移植が、1967年に行われた病院（Groote Schuur Hospital、写



写真3：テーブル・マウンテンからのケープタウンの景色



写真4：ケープタウンが誇る世界の保養地

真6)を訪問しました。ケープタウンの人々にとっては、世界初の心臓移植が大きな誇りのようでした。有名な喜望峰(Cape of Good Hope、写真7)に、数時間のドライブで行けます。大西洋とインド洋の雄大な景色を一望に見ることができ、感慨深かったです。

南アフリカは、世界有数のアスベスト産出国でした。毒性の強い青石綿が、大量に採掘されました。1960年には、南アフリカでの胸膜中皮腫とアスベスト曝露との関連性を指摘する論文をWagnerらが発表しました。しかし、その後もアスベストの生産が続きました。したがって、南アフリカには、石綿が原因の中皮腫や肺がんなどの患者さんが多数おられます。第12回の世界中皮腫会議は、このような背景のある南アフリカのケープタウン国際会議場(写真8)で開催されました。私は、「胸膜中皮腫に対する胸膜外肺全摘術と放射線療法と抗癌剤治療を組み合わせた治療方法の成績」を報告(写真9)しました。



写真5: アパートヘイトで隔離されていた地域の住宅(現在も多くの人が居住)



写真6: 世界初の心臓移植が行われた病院 (Groote Schuur Hospital)

山口宇部医療センターは呼吸器疾患の診療を得意としていますので、肺癌や胸膜中皮腫の患者さんが多く受診されています。特に、「悪性胸膜中皮腫」の患者さんは全国から来られています。胸膜外肺全摘術という胸膜中皮腫に対する手術を受けられた最近12人の患者さんの住所は、福岡、山口、大阪、神奈川、山口、北海道、群馬、埼玉、奈良、兵庫、奈良、愛知です。患者さんやご家族の期待に応えられるように、世界中皮腫会議での発表を良い機会として、さらに精進しようと誓っています。今後とも、よろしくお願い致します。



写真7: 喜望峰 (Cape of Good Hope)



写真8  
ケープタウン国際会議場

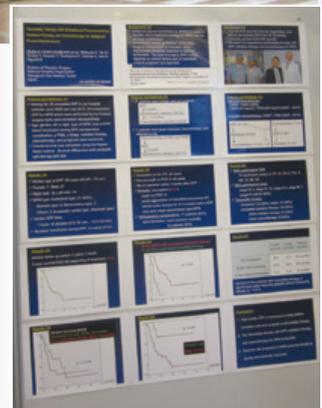


写真9: 私の発表

# 緩和ケア病棟行事 ひな祭りコンサート

緩和ケア病棟看護師 坂本 佳子

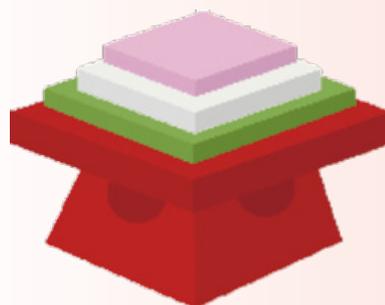


緩和ケア病棟では、患者様、ご家族に季節を感じていただき、気分転換を図ることを目的として、月に1回の病棟行事を開催しています。月毎にボランティアの方々のご協力のもと季節に合わせたコンサートを開催し、患者様、ご家族の方にはお茶やお菓子を楽しんでいただいています。コンサートではビオラ、ピアノの演奏、コーラス、フラダンスなど様々な催しが行われます。



3月4日には、お雛様が飾られたデイルームで「ひな祭りコンサート」を行いました。3名のスポットボランティアの方々により、琴とフルートの演奏がされました。患者様の状態に合わせて、ベッド等でも参加していただき、9名の患者様と10名のご家族の参加がありました。普段なかなか聞くことのない琴やフルートの音色に病棟内は穏やかな時間が流れていました。患者様やご家族の中には曲に合わせて口ずさみ、涙ぐまれている方もおられ、30分という時間ではありましたが、癒しの時間となったのではないかと思います。

これからも、患者様、ご家族にとって心の潤いとなるような病棟行事を行っていきたいと思います。



# ひなまつりの会を開催して

3階病棟看護師 河谷 麻子



平成27年3月2日、結核ユニットにて、ひなまつりの会を開催しました。

今回私は、準備から担当し、ひなまつりや山口県に関するクイズ大会、指の体操、カラオケ大会、抹茶接待を企画しました。



クイズ大会では、患者様に積極的に答えてもらうことができ、とても好評でした。指の体操は、内容が難しいものでしたが、患者様とスタッフが一体となり、盛り上がりました。カラオケ大会では、全員で歌える曲を選び、一緒に歌うことができました。最後に行った抹茶接待は、特に好評で、「お菓子もお茶もとてもおいしかったです。」とうれしい言葉をいただきました。中にはおかわりをされる方もおられました。

今回のひなまつりの会は、このように大盛況のうちに終了しました。患者様の気分転換を図り、充実した療養生活を送っていただくために、今後も定期的に季節の行事を開催していきたいと思います。

次回はお花見を企画しています。



# 「がん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計」 から見た肺癌診療実績

病歴係 田邊 晴子

山口県内には、2015年4月1日現在、国指定の「がん診療連携拠点病院」（7病院）「地域がん診療病院」（2病院）と山口県指定の「特定領域がん診療連携推進病院」（当院）があり、県内でのがん医療の均てん化、拠点病院を中心とした各地域の医療ネットワークの形成によるがん医療の連携体制の整備が進められています。

「がん診療連携拠点病院」においては「がん登録」が義務化されており、毎年国立がん研究センターにデータを提出しています。2011年より、県に推薦された病院もデータを提出しています。県内ではがん診療連携拠点病院に加え、長門総合病院、都志見病院、当院がデータを提出しております。

全国の拠点病院及び準拠点病院から提出されたデータは国立がん研究センターにおいて集計、分析され「がん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計」として国立がん研究センターのホームページ ([http://ganjoho.jp/professional/statistics/hosp\\_c\\_registry.html](http://ganjoho.jp/professional/statistics/hosp_c_registry.html)) で公開されています。各病院の診療実績を誰でも見るできるようになっています。現在2012年症例までの報告書が公開されており、2012年症例では、がん診療連携拠点病院397施設613,377例、準拠点病院236施設152,746例、合計766,123例のデータが集計されました。

がん登録の対象は、各年1月1日～12月31日の間に自施設で診断あるいは他施設で診断されて自施設に初診したすべての悪性新生物・頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の患者です。「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 登録とその定義 2006年度版 修正版」、「UIC第7版」等を元に各医療機関で登録を行います。

「がん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計」の2011年及び2012年全国集計より、県内10病院で診療した肺癌患者のうち、各年とも約35%を当院で診療しました。また、肺癌の手術件数においても最も多く、肺癌に関しては県内では他院の追随を許しておりません。肺癌の治療について、当院での治療を選択肢のひとつにご検討いただければと思います。

2011年及び2012年の全国集計時の指定状況※

## ●がん診療連携拠点病院（国指定）

（都道府県がん診療連携拠点病院）山口大学医学部附属病院

（地域がん診療連携拠点病院）

下関市立市民病院、山口赤十字病院、山口県立総合医療センター、岩国医療センター、周東総合病院、徳山中央病院

## ●がん診療連携推進病院（県指定）長門総合病院、都志見病院、山口宇部医療センター

※平成26年度までの指定病院（今年度、再編成されました）

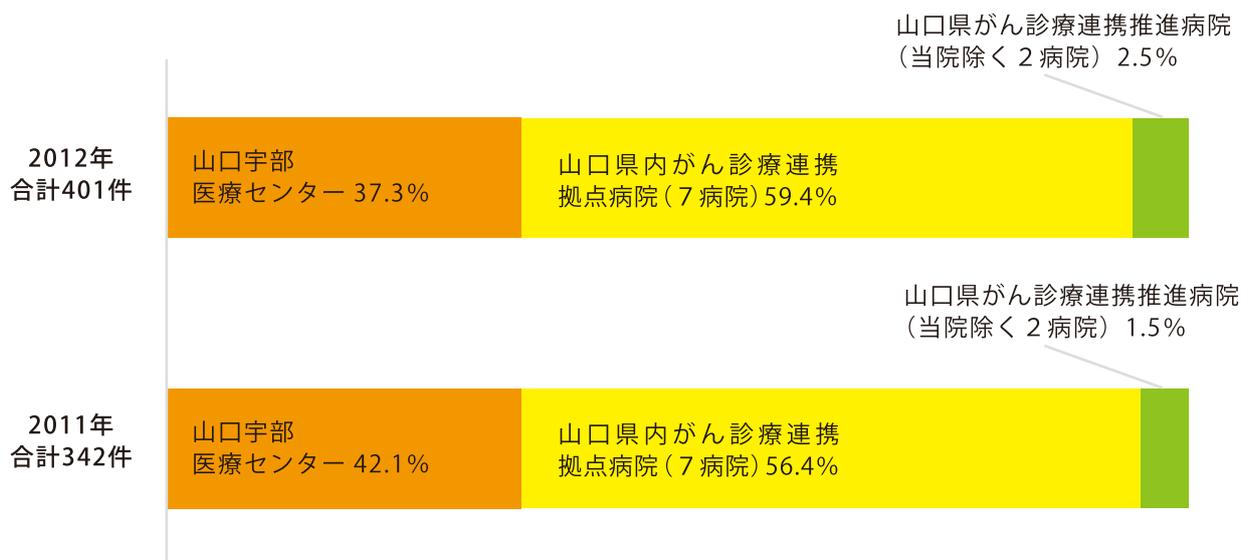
## 山口県のがん診療連携拠点病院等別 肺癌の登録件数割合

(がん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計より)



## 山口県のがん診療連携拠点病院等別 肺癌の原発巣切除術後病理学的 ステージ件数より、手術数の割合

(がん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計より)



・UICC 第7版(取扱い規約第7版)

## 第30回

# 市民公開講演会『呼吸器フォーラム』

管理課長 松本 智



当院では、毎年、市民公開講演会として「がんフォーラム」と「呼吸器フォーラム」を開催しています。今年の2月14日(土)に開催した「呼吸器フォーラム」で30回目となりました。

講演会では松本副院長の開会挨拶に続き、大石呼吸器科医師による「間質性肺炎って知っていますか？ 見過ごされると意外とこわい肺の病気」、岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 呼吸器・乳腺内分泌外科 准教授 大藤剛宏先生による「肺移植で救われる命」の2講演を実施しました。

大石医師は間質性肺炎と通常の肺炎の違いについて、具体的に分かりやすく説明していただきました。大藤先生は肺移植に関する最新の医療技術や国内最多の肺移植症例を誇る岡山大学での色々な取組等について、一般の方にも分かりやすく説明されました。講演終了後にはたくさんの質問があり、この治療に対する関心の高さが伺えました。

この市民公開講演会では参加された皆様にアンケートを実施して、今後の企画に反映させていくこととしています。アンケートでは間質性肺炎について、「病名を聞いても内容がよく分かりませんでした。講演を聴いてよく分かりました。」「知らない病気であったが、大変分かりやすかった。」「スライドや手順がよく、とても分かりやすかった。」など「分かりやすかった。」という意見を多数いただいております。また、肺移植については、「大変感動しました。涙が出ました。」「医療のすばらしさを実感できました。」「技術のすばらしさ、取組に感動しました。」など「感動した。」という意見を多数いただいております。大変ありがたく感じるとともに、今回の



大藤剛宏先生による講演の様子



大石医師による講演の様子

講演会が少しでも皆様のお役に立てたのではないかと考えております。

また、「今後も続けて欲しい。」「とても良い企画なので、もっと多くの人に聞いてもらえたら良い。」など、今後の講演会に期待する声も多く、次回はさらに皆様のお役に立てる「フォーラム」となるよう努めて参りたいと思います。

本年9月には、第31回「がんフォーラム」を開催する予定ですので、皆様の参加をお待ちしております。

最後になりましたが、たくさんの方に参加いただき無事に終了いたしましたのは、ご後援をいただきました山口県、山口県教育委員会、宇部市、宇部市教育委員会、山口大学医師会、宇部市医師会、吉南医師会、厚狭郡医師会、小野田市医師会、美祢市医師会、美祢郡医師会、宇部薬剤師会、また、県内の医療機関、地方公共団体、地元自治会、マスコミ及び各種法人様からのご支援の賜であり、スタッフ一同感謝しております。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。



## 永年勤続者表彰式を 平成27年4月1日に行いました。

表彰式では、副院長等の臨席の下、長年にわたって勤務された被表彰者17人（出席者13人）に対し、上岡院長から表彰状及び記念品が授与されました。

なお、被表彰者の方々は次のとおりです。

### 30年

契約係長	植尾 憲治
小児科系診療部長	沖野 文子
業務班長	小田 龍弥
准看護師	島野 光子
看護師	中田須美枝
主任調理師	中村 剛貴
看護師	藤本みどり
主任調理師	古谷 眞一
看護師	堀永ひろみ
管理課長	松本 智
副看護師長	綿谷 洋子



### 20年

精神科医長	小野 光弘
看護師	坂田 悦子
看護師	林 喜代子
看護師	藤江 直美
看護師	古川 薫
看護師	細川 裕美



# 「医療安全活動発表会」を開催しました

医療安全管理係長 西田 茂雄



当院では、平成26年2月4日・10日に「医療安全活動発表会」を開催しました。



発表会場

この発表会は、1) 当院で医療安全上課題となっている問題に、医療チームで改善に取り組む、安全性の向上を図ること。2) 結果を発表することで情報の共有と職員のリスク感性の向上を図ることを目的とした院内研修会で、平成23年度より毎年年度末に開催し、昨年度で4回目の発表会となりました。

各職場で年間を通じて取り組んだ成果を、19部署の職場の代表者が発表しました。それぞれ意見交換も行い、各職場の活動の成果を共有することができました。

発表スライドを会場に掲示し、職員間で投票も行いました。投票結果は、第1位「毎日実施～インシデントカンファレンス」4階病棟、第2位「DOTS（直接服薬確認療法）の配薬時間を変更した報告～誤薬ダメよダメダメ～」3階病棟・結核ユニット、第3位「骨折予防について」きらら西病棟となりました。

日々医療安全に関する情報（インシデント情報）を共有することで、類似事例や大きな医療事故の予防に繋がっていることや、患者様のニーズに沿った服薬管理を行うことで安全な与薬を行えていること等、医療安全を確保するために必要なことを学びあうことができ、有意義な発表会となりました。

当院では今後もこの活動を継続し、患者様の安全を守り、満足していただける医療を提供できるよう、病院全体で取り組んでいきたいと思っております。



ポスター投票風景

# 地域連携室だより

## 「地域がみんなのホスピタル」

～地域医療連携情報ネットワーク「さんさんネット」～ご紹介

宇部市医師会地域医療連携情報ネットワーク事務局 浜田 庸子

地域医療連携情報ネットワーク「さんさんネット」の運用を平成26年4月1日から開始しました。医療の仕組みは、「病院完結型」から「地域完結型」へ転換されつつあります。病院、かかりつけ医、行政、介護施設の連携を進めることで、市民の皆様が医療の網の目から漏れ落ちないようにしなければなりません。さんさんネットは、宇部市、山陽小野田市、美祢市、厚狭郡の医療機関と医師会、行政が参加し、地域医療再生基金を活用し、2年間の準備期間を経て作られました。医療情報を参照、共有することが可能で、そのことで医療連携を推進することを目的とします。今後は、参加機関が増加して、「地域がみんなのホスピタル」になるようシステムの機能追加等を行ってまいります。

医療情報には個人情報が含まれ、専門性の高い解釈を必要とします。そのため市民は直接に利用することはできませんが、かかりつけ医の診療の際に閲覧、説明を受けることが可能です。参加には、患者様の同意を必要とします。

さんさんネットのホームページ：<http://www.yamaguchi.med.or.jp/sun2net/>

### 【内容】

#### ■ 地域医療ネットワーク

##### ◆ 診療情報公開・参照システム

- ・ 情報公開病院：山口大学医学部附属病院、山口労災病院、宇部興産中央病院  
患者様の了解・合意のもとに、診療所に居ながら情報を参照することができる。  
例：CT・MRI・X線画像。血液検査結果。投薬内容。入院中の病状

##### ◆ 地域医療連携パスシステム

- ・ 脳卒中・大腿骨頸部骨折・急性心筋梗塞：発症直後の治療から、リハビリや再発予防の取り組みまで、一連の治療の協力体制を支える仕組み

#### ■ 地域ポータルサイト

##### ◆ 退院情報連絡システム

- ・ 患者様の退院後の生活を支援する

##### ◆ 地域院内感染対策ネットワーク

- ・ 伝搬力の強い感染症、薬剤に抵抗する感染症などの情報と解決指針の共有

##### ◆ 医療介護施設情報検索システム

- ・ 医療機関・介護機関の利用・選択を支援する

##### ◆ 地域医療連携室ネットワーク

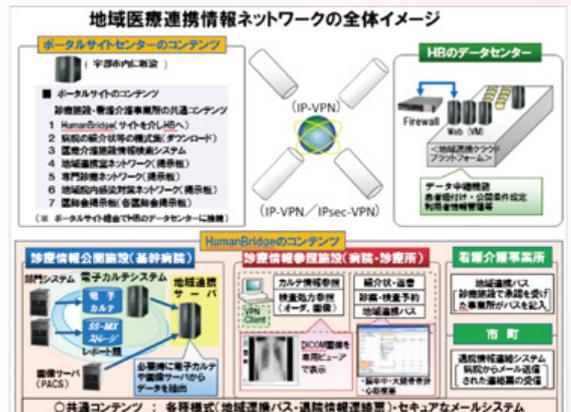
- ・ 患者様の退院・転院の問題解決を支援する

##### ◆ 専門診療ネットワーク

- ・ 医療問題に関する専門医間の議論・協力を支援する

##### ◆ 医師会掲示板

- ・ 医師会員の診療・社会貢献の支援





# 外来診療案内

当院は予約制となっており、予約患者さんを優先しております。

平成27年4月1日現在

診療科	担当医				
	月	火	水	木	金
内科新患外来	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
内科紹介外来	うえおか ひろし 上岡 博	うえおか ひろし 上岡 博	うえおか ひろし 上岡 博	うえおか ひろし 上岡 博	うえおか ひろし 上岡 博
血液・腫瘍内科 【抗がん剤治療・肺がん等】	まえだ ただし ちかもり けんいち 近森 研一	あおえ けいすけ うつのみや としあき 宇都宮利彰	きしの だいごう ちかもり けんいち 近森 研一 うつのみや としあき 宇都宮利彰	まえだ ただし 近森 研一	あおえ けいすけ きしの だいごう 岸野 大蔵
内 科		いしだ こういち 石田 浩一			いしだ こういち 石田 浩一
呼吸器内科	こうとく わたる 神徳 濟 おおいし 景士	さかもと けんじ 坂本 健次 むらた よりゆき 村田 順之	むらた よりゆき 村田 順之	こうとく わたる 神徳 濟 おおいし 景士 さかもと けんじ 坂本 健次	いしだ こういち むらた よりゆき 村田 順之
消化器内科 【内視鏡等】				かいのう せいじ 戒能 聖治	
画像診断科 【画像診断等】		まつもと つねお 松本 常男			まつもと つねお 松本 常男
呼吸器外科・外科 【肺がん】	おかべ かずのり たなか としき 田中 俊樹 はやし たつろう 林 達朗		おかべ かずのり たなか としき 田中 俊樹 よしだ くみこ 吉田久美子	おかべ かずのり たなか としき 田中 俊樹 はやし たつろう 林 達朗 よしやま こういち 吉山 康一 ふるかわ まさし 古川 公之	
乳腺・消化器外科 【胃がん・大腸がん等】			ひらざわ かつとし 平澤 克敏		ひらざわ かつとし 平澤 克敏 (午後・新患のみ)
循環器内科 【心臓・高血圧等】	さいき ゆきお 佐伯 幸男		さいき ゆきお 佐伯 幸男		
緩和ケア内科 【完全予約制になります】	みやたけ かずよ 宮武 和代			みやたけ かずよ 宮武 和代	
	症状緩和外来		かたやま ひでき 片山 英樹		
放射線科 【画像診断・放射線治療等】	たくちこうたろう 田口耕太郎 おのだひでこ 小野田秀子	たくちこうたろう 田口耕太郎 おのだひでこ 小野田秀子	たくちこうたろう 田口耕太郎 おのだひでこ 小野田秀子	たくちこうたろう 田口耕太郎 おのだひでこ 小野田秀子	たくちこうたろう 田口耕太郎 おのだひでこ 小野田秀子
小児科 【障害児外来】※予約患者のみ診察					おきの ふみこ 沖野 文子
精神・神経内科 【てんかん等】	おの みつひろ 小野 光弘	おの みつひろ 小野 光弘	おの みつひろ 小野 光弘	おの みつひろ 小野 光弘	おの みつひろ 小野 光弘
Clinic for English speaking patients	Dr. K. OKABE		Dr. K. OKABE	Dr. K. OKABE	

※下記診療科は入院患者のみ診察

整形外科 【リウマチ・骨粗鬆症等】					いまがま たかし 今 釜 崇
歯 科		はらだ こうじ 原田 耕志	たけなわ たかのり 竹縄 隆徳		
耳鼻いんこう科			たはら しんさく 田原 晋作		
神経内科			たかほし しおり 高橋 志織		

① 外来受付時間 午前8時30分～11時30分 【外来診療開始時間 午前8時30分～】

② 再診の予約受付は、医療事務室までお問い合わせください。

③ CT及び核医学（シンチグラム）の外来紹介は、地域医療連携室（内線2452）までご連絡ください。

☆受診を希望される日の休診状況  
をご確認ください。

患者紹介または外来診療に関するお問い合わせは、地域医療連携室まで  
地域医療連携室 受付時間：毎週月～金曜日まで 8時30分～17時15分  
TEL：(0836) 58-4100 FAX：(0836) 58-2938  
※ご紹介の際、一報して頂けると幸いです